

授業科目名：社会学理論 (Principles of Sociology)

教養学部 冬学期 金曜日 3限[13:00-14:30]

第2回 2010年10月15日 授業の内容

1. 「Sociology is…」

4~5人が一組になって「社会学とは何か」に関して話し合い、黒板に書きました。

2. 「社会と個人」の関係

①「局所/全域」「Local/Global」「経験/人生・愛」などに例えると、「局所」を全部合わせても「全域」にはならないように、または「経験」というのを重ねても「人生」や「愛」を完全に分かることは出来ないように、一人ひとりの「生活」を足しても「社会」にはならないし、完全に知ることはできない。

②社会は主体の外にあるのではなく主体は社会の中に埋め込まれている。「経験」を取り替えていく事で社会の「構造」や「規則」、社会の地図が分かるようになる。

3. 「同じ」と「互いに」

「同じ」は強い推移律を持っている。いくら辿っていても同じ性質を見出せる。

「互いに」は対称律を持つ。交換する原理。対等な関係。a-b, b-a ex) 友達

cf) 推移律：a-bかつb-c) →a-c

「互いに」も推移律を見出せるだろうか？(a-bが友達で、b-cが友達でもa-cが友達ではない場合が存在する。)

4. 人間と人間の結びつき

(『基礎社会学』Ⅱ社会過程 安田三郎ほか編 東洋経済新報社)の p.22

表1-5 6つの社会過程の関係を簡単に説明

促進と促進：結合 (例えば親子関係)

阻害と促進：支配

阻害と阻害：抗争

★課題：結合関係の3類型を用いて、身近な社会関係について考察すること (ミニッツレポートの用紙を配付→来週提出)。